



解体工事現場

- 本社所在地：徳島県三好市
- 事業概要：解体工事業及び産業廃棄物
収集運搬業・産業廃棄物処分業
- 常時使用する従業員：49名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：13.5億円
(2025年3月期)
- 法人番号：5480002015951
- Web：https://yamato-jyuuki.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
楠本 隆文

「未来を守り、未来をつくる」

私たちは「未来を守り、未来をつくる」を理念に、解体工事を次の街づくりの出発点と捉えます。安全第一と近隣配慮を徹底し、解体から収集運搬・中間処理・最終処分までを責任一貫で担うことで、お客様の不安と手間を減らし、適正処理と資源循環を実現します。法令遵守と環境負荷低減に真摯に取り組み、地域に根ざした信頼される企業として、暮らしの安心と持続可能な社会に貢献します。

解体業は今後、老朽建物の建替えに伴う循環型ニーズが一層高まると考えており、私たちはその変化を成長機会と捉え、安全・適正処理・資源循環を軸に、お客様と地域に選ばれ続ける企業として進化し続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高達成に向け、①超大型案件（5億円以上）の受注増②人材確保と営業力の強化により重機及び人の稼働率の上昇③商圏の拡大④高付加価値な解体作業の受注⑤M & Aにより中間処理場を確保し、解体業の一貫受注体制を構築し、2029年まで年率10%の成長、2030年以降構築した解体業のブランド力を生かし年率20%の成長を目指す。

課題

- 【設備投資】超大型案件を受注するための超大型解体重機の導入
- 【人材育成】超大型重機のオペレータを計画的に確保
- 【人材育成】アスベスト等の難易度が高い解体業務に対するノウハウの構築
- 【営業力強化】ゼネコンや大手スーパー等への営業力の強化
- 【管理体制】重機及び人の稼働率を上げるための管理体制の構築
- 【管理体制】商圏及び事業規模拡大による経営管理体制の向上

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・徳島県で当社のみが導入している超大型解体専用重機を複数台導入することで、四国域内の大型解体工事を効率的に受注する。さらに、M & Aにより各地域の解体業社を引継ぎ商圏の拡大を図る。
- ・超大型解体専用重機のオペレータを計画的に確保するためにSNS等を活用し人材採用を行い、OJTで確保する。
- ・今までの解体ノウハウやアスベスト等難易度が高い解体業務を強化し、ゼネコンや大手スーパーへの営業をかけ新規顧客開拓を図る。

実施体制

- ・超大型解体専用重機の活用を図るために、代表取締役をリーダーとする営業チームを発足し中四国及び関西のゼネコン等の新規顧客開拓を行う。
- ・配車担当チームを発足し、重機・人の稼働率を最大限活用できる管理部門を設ける。
- ・アスベスト等の難易度が高い解体作業の専任者をSNS等で採用・確保し解体業務の幅を広げていく。
- ・協力会社のノウハウや外部専門家の協力を得て、近隣県の間処理場を承継して、産業廃棄物処理業に進出する。

売上高100億円実現の目標と課題

- ・ 2026年に超大型解体専用重機を複数台導入し、ゼネコンやディベロッパー、大手スーパーからの受注を受け、超大型解体工事や短期間での解体工事の受注を伸ばす。
- ・ 2029年にアスベストや付加価値の高い解体業務のノウハウのある従業員の採用又はM & Aによりノウハウのある会社を引継ぎ、特殊解体業務の受注を開始し、新規顧客獲得を目指す。
- ・ 2029年を目処に徳島県外の間処処理場の事業所を承継し、間処処理場である協力会社の運営ノウハウの活用しながら解体業務の一貫受注体制を構築する。
- ・ 上記の内容により、一貫受注体制による安心感を訴求し、ブランド化された解体ノウハウにより2030年以後は成長率20%とする。

